

～ブックスタートのご案内～

箕面市では令和7年8月から、4か月児健康診査の際にお子さんと保護者の皆さんに、絵本を楽しむ体験と絵本を1冊プレゼントする取り組みを始めます。

これは「ブックスタート」という活動の一環です(裏面参照)。

絵本のプレゼントは、すべての赤ちゃんと保護者のかたに、絵本を通して楽しいひとときを過ごしていただくことを願う、市民のかたの寄付によるものです。

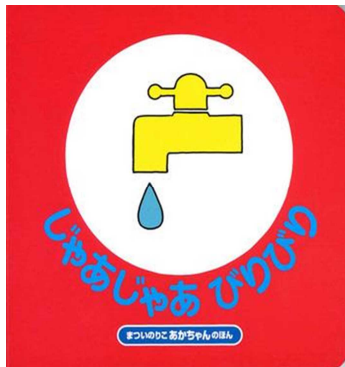
お子さんとあたたかい絵本のひとときを楽しんでみませんか。

📖お渡しする絵本(いずれか一冊)

以下の三冊から、お選びいただいた絵本をプレゼントします。

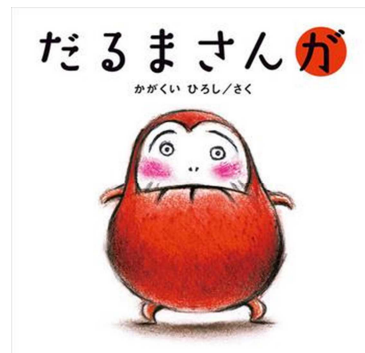
📖『じゃあじゃあびりびり』

まついのりこ/作(偕成社)



📖『だるまさんが』

かがくい ひろし/作(ブロンズ新社)



📖『いないいないばあ』

松谷みよ子/作・瀬川康男/絵(童心社)



【お問い合わせ先】

〒562-0003 箕面市西小路 4-6-1

箕面市教育委員会

子ども未来創造局 子どもすこやか室

TEL:072-724-6768 FAX:072-721-9907



赤ちゃん絵本のひとときを Share books with your baby !

ブックスタートは一人ひとりの赤ちゃんに
絵本を楽しむ「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。
イギリスで始まり日本でも市区町村の事業として全国に広がっています。

● 赤ちゃん絵本のこと Q&A ●

Q 赤ちゃんに絵本がわかるの？

A 赤ちゃんは、おはなしの内容はまだわからないかもしれませんが、でも、絵本の絵やことばのリズムなどを楽しんでいます。
赤ちゃんにとって絵本は、読む(read books)ものではなく、読んでくれる人と一緒に楽しむ(share books)もの。大好きな人が、抱っここのぬくもりの中でやさしくことばをかけてくれる……。そんなひとときが、赤ちゃんはうれしくて心地よいのです。

Q 絵本をただめくって遊んだり、なめたりしてしまいます。

A 赤ちゃんは、身近なものをさわったりなめたりしながら、それが何であるかを確かめます。絵本とのおつきあひもそんなことから始まり、やがて誰かに読んでもらう楽しさに気づいていくのです。
たくさん楽しんだ絵本は家族の思い出。お子さんが大人になった時に、プレゼントしても素敵ですね。

Q 絵本選びに迷う時は？

A 絵本を選ぶ時は、お子さんと保護者の方の「好き！」という感覚をどうぞ大切に。図書館のおすすめの絵本を読んだり、おはなし会に出かけたりすることも参考になります。
お子さんと一緒に、お気に入りの絵本を見つけてみてくださいね。

Q 絵本を読んであげる余裕がありません。

A 忙しい毎日の中で、絵本を「読まなくちゃ」と思うと、楽しみではなく負担になってしまいますよね。絵本は赤ちゃんとのコミュニケーションツールのひとつ。無理に「毎日」「全ページ」読まなくてもいいんです。
ほんのひととき、赤ちゃんとうつたり過ごしたい……。そんな気分の時に絵本をひらいてみませんか？

2分でわかる動画

「赤ちゃんといっしょにえほん」

